

障がいのある子どもたちの『企業体験ツアー』
DHL サプライチェーン株式会社 社員ボランティアの皆様
【パートナー団体:NPO法人 OluOlu 他】

■活動の目的:

- 1) 障がいのある子どもたちが、心だんはできない新しい社会経験・職場体験を通して、視野を広げる機会をつくる。
- 2) 社員が、障がいのある子どもたちへ職場見学・仕事体験の機会を提供することを通じて、自分の仕事に誇りを持つとともに、職場の Diversity & Inclusion(多様性を認めて受け入れること)を考え、視野を広げ、理解を深める。

■活動を始めたきっかけ(活動開始 2022 年 7 月):

サステナビリティに特化した倉庫のオペレーションが開始したことをきっかけに、当社が推進する ESG 活動のうち、Social(社会)にかかわる CSR の取組みとして、「地域コミュニティへの貢献」をテーマに NPO 法人 OluOlu 様とコラボした活動を始めました。

■活動内容(ボランティア実数 2022 年 20 名、2023 年 58 名):



DHL サプライチェーン株式会社では、ESG・ボランティア活動のひとつとして、障がいのある子どもたちを物流倉庫に招待する『企業体験ツアー』を 2022 年から実施し、小学校低学年から高校生まで幅広い年代の子どもたちにご参加いただいています。

子どもたちは、フォークリフトや作業用のロボットが実際に動くところを初めて見たり、説明を聞いたりしながら倉庫の内部を歩いて見学します。見学の最後には、社員によるマンツーマンでのサポートを受けながら、実際にハンディスキャナーやロボットを操作して商品をピックすることを体験します。そして、その商品を梱包した後、伝票に自分の名前と住所を書いて発送します。発送された商品は、子どもたちの家に後日プレゼントとして届けられます。子どもたちは見て、聞いて、手を動かして、物流倉庫がどんなところで、どんなことをしているのかを学ぶことができます。

開催にあたっては、障がい児のスポーツや文化活動を応援する NPO 法人 OluOlu 様他より、子どもたちを本ツアーに招待しています。弊社顧客であるパタゴニア・インターナショナル・インク日本支社様にもご協力いただき、子どもたちへパタゴニア社のサステナビリティに向けた取組みのご紹介や、ギフトのご提供をいただいております。また、ラピュタロボティクス株式会社様にもご協力いただき、自走式ピッキングロボットのデモと操作サポートを行っていただいております。

実際に『企業体験ツアー』に参加した子どもたちからは、「倉庫はモノを置いておく以外にも、役割

が他にもあったんだ」「(ふだん見ることのできない倉庫の中を見学したことで)こんな仕事をして
いたのだと初めて知った」という驚きや、「働くことを間近に見られたことが興味深かった」「海に捨
てられたものからまた服を作る取組みを知ってすごいなと思い、自分の洋服も大切に着ようと思っ
た」などの感想をいただき、新たな発見・学びにつながっているようです。

保護者の方々からは、「作業した荷物が自宅に届くワクワク感。実際に届いたときは大喜びでし
た」「体験を通じて、働くイメージを持つ機会を得られました」「子どもたちをおおらかに受け入れる
空気を作ってくださったおかげで安心して楽しめました」など子どもたちの喜ぶ様子とともに自立
や就職・将来へのイメージや見通しが得られた、といった前向きな感想をいただいています。

■活動の成果:

2023 年 10 月末までに『企業体験ツアー』を全
3 回実施し、NPO 法人 OluOlu 様と社会福祉法人
大成会 本城ルーム様より子どもたち 45 名とその
保護者が参加。DHL サプライチェーン株式会社の
78 名の社員が参加。子どもたちは、このツアーを
通して学びや刺激を受けると同時に、自立や就職・
将来へのイメージも得られる機会になっています。
社員にとっても、地域社会とのつながりや多様性について考えるきっかけとなっています。



■強調したいこと:

本活動が、子どもたち自身のさまざまな気づきと成長につながる機会になっていると同時に、社
員自身の学びにもつながっていると感じています。例えば、社員は参加者からのフィードバックを
励みにゲーム要素を取り入れたり、進行を工夫したりするなど、どうしたらより楽しんでもらえるか
を考え、主体的に活動内容を改善・進化させています。

地域コミュニティと社員の双方が、良い影響をもたらしているところに、当初の想定を超え
た大きな手ごたえを感じています。

2023 年 10 月の 3 度目の開催では、社会福祉法人大成会様が運営する本城ルーム(放課後等
ディサービス)の子どもたち向けにもツアーを開催し、活動の幅をさらに広げています。

活動に参加する社員は、入社したばかりの新卒社員からシニアマネージャーまで、幅広い年代が
ボランティアとして集まっています。経験年数や立場にかかわらず、楽しみながら参加できることも
主体的参画の要因になっているととらえています。

また、会社のリソースとして、職場(倉庫)そのものをツアー開催場所として最大限使用し、実施後
は社内 SNS で活動について周知を行っています。

DHL サプライチェーンは引き続き、この取り組みの他事業所での展開や、新たなアクションを実
施するなど活動の幅をさらに広げ、すべての人のために持続可能で多様性を重んじる未来を実現
することを目指して、地域コミュニティへの貢献を図っていきたいと考えています。

第9回企業ボランティア・アワード『大賞』